会館

1

6

月

15日に大商

の症状

が出

モア・ヒバクシャ近

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第 3 ビル 210 号) TEL.06 (6765) 3032 FAX.06 (6765) 3033 URL・https://hikaku-osaka.jp/ E-mail・hikaku-osaka.ghotmail.com 2019年7月1日 第192号

ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟

hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp

5 かし単に 団訴 はノー じまり」といわれて 爆症認定訴訟です。 ヤ訴 久米弘子弁護士(京都) 爆 \mathcal{O} ていることから 被爆者が提訴した原 記念講演は弁護団 「はじまりは京都 症 でした。 訟に先行する一人 訟や原爆症認定集 認 モア・ヒバクシ 定 時 小 系列上先行 西訴訟 小西訴訟 カコ

いを振り 内容でした。 の体験談を聞くという 動の原点である被爆者 るヒバクシャのたたか 原爆症認定行政に対す 現在の原告は、 1 今回のつどいは、 名古屋訴訟の3 返 o, います。 訟 また運 広島訴 近畿訴 0

のヒバクシャの健康被被害は無いと考えるの故害は無いと考えるのな。それとも科学的には未解明であっても、 害を直 \otimes あるから、 0 0 救済を行う モア・ヒバ 根本的争点を、 クシャ訴 Ó 被害を認 か、

なっていませんでした。政も問題性が明らかにめて厳しい国の認定行 多く、 なったのは原爆被爆がれず、疲れやすい体と も依頼せず) い原 人で国相手の 分がずっと体調 L 一因とし いて未知 西さん と確信し、 かし 小西さんは、 被爆者に対し が提訴 か考えられな 明な部分が たった一 裁判闘争 (弁護 がすぐ したこ 自 士 極

判決

バクシャ ました。

は全国 モア・ヒ すつどい」 訴訟・全面

が開催され 勝利をめざ

ノ |

130人の原告が提訴

による解決が順次進み、 してきましたが、

明な部分が多くありま を始めたのでした。 放射線被曝の被害に いては科学的に未解 科学的に未解明で 科学的に説

すことができました。 訴訟の意義を思い起こ ことにより、 さんの想いや、 は枚方市原爆被害者 2 の苦労話をお聞きする ĺ 久米弁護士から小 久米弁護士の後に モア・ヒバクシャ 改めて、 西

をお話し 爆者の想い」 兵器のない世界 森さんは被爆体 別報告がありまし .違う」「同じ して下さい との 爆者 \\ \{ \} 演 ま 験 そ 題 被

問うたのが小西さんだ

0

って裁判で

です、 す。 訴訟につながったので 提起され、 らないという思いから 爆者全体の救済にはな 裁判の勝利だけでは 原爆症認定集団訴訟が 多くの モア・ヒバクシャ 専門家の をする 一人の

会の森容香さんが ことだと思います。 ヒバクシャ訴 総がれているという ,西さんの訴訟の原点 だったというのは、 現在のノーモア・ 小西訴訟がはじま 訟まで受 裁判で 「核 0 もら 島 会 加 ウ て、 3 れ 節

が、小西

ŋ

①全人類共通の緊急課題としてを求める
②目を求める
③日本の核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
③日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
を制定する。での合意にもとづいて国際連帯を強化する。 非核五項目

たつどい 事も楽しめた充実 最後に 提 全 でした。 史を学び、 つどいに

た行動 われ、・ ました。 れたの ない 集会はお開きとなりま 介して下さりました。 ちひろさんの唄があり 引きすることなどでき 点を確認し、 ったもの 広島長崎 れぞれ 唄の して下さった3名の 「島唄文化を考える 0 次に文化行事とし 1 ました。 紹介と激励が行 が印象的でした。 豊かさを教えて があることを紹 牧志徳さんと奥 単 0 面勝利に向け の原爆をうた 島唄の中には 起が行われて 純な基準で線 (クルダン 訴えておら また文化 参

宗教者と非核平 シリーズ No. 12. り目が 和

シマ」とカタカナで表

するとともに「ヒロ

原爆について学び、

この

地域の人々も核廃

をアピールしました。

チなどでも「ヒロシマ」

仕事をしていました。

お逢いすることができお導きにより親鸞様に 侶の方がたと知り合い、 浄土真宗安芸教区の僧 島に在住していた時に、 広島は、 (間ですが、かつて広 私 は、全くの在家の 私にとって

大事なところです。 40年間近く、 |間放送で番組作り 広島

8月6日を中心とする もタッチしていました。 現される運動の実践に しました。 ビラまきなどにも参加 る平和行進や座り込み、 「核兵器廃絶運動」に 運動としては被爆、 進んで加わりまし 核兵器廃絶を求め

原爆被爆50年にあた

安芸教区が催した

たと思い、その処遇に

深く学ばせていただい

むしろ感謝しておりま

浄土真宗との関係は

いました。 広める運動に開 アオギリ二世の苗木を 8 関わって 月 6 日

> ことです。その中で教 かわらせていただいた

ディレクターとしてか 大きな行事にイベント

中心を占め 隣国 核・平和の と一段と反 ともありま 出張するこ あちこち カリブ海の てきます。 ドミニカ共 た。 仕事上、 って遠く 国やその 縁が

を前にする です。 だいたことがきっか 激と教えを賜り、多く区の僧侶の方々から刺 のことを学ばせていた

け

ばせていただいた者で を受け、 ました。 宗徒に加えていただき す。そしてご縁に依り 院の通信教育などで学 いただきました。 教義は、 そのご縁からお導き 同朋に加えて 中央仏教学

地域の方々に教えをい や平和運動にも加わり、 場では、 労働組合活動 仕事の カン

> 鸞聖人のみ教えを更に たが、一連の闘いで親 労働者の権利を守り、 利であるストライキを 金刑で有罪となりまし 確立する闘いに10年 刑事事件被告人にされ、 めぐって手錠・腰縄 ただきました。 近く関わりました。 1 5, 0 0 その中で労働者 円の罰 0 0

事を重ねていました。

6日を中心に反核の行

.関心を持ち、8月

いて僕の話を熱心に

関心を示し、会を開 ヒロシマから来た僕

てくれました。

す。 利確立と親鸞聖人や蓮 如上人のみ教えを自分 中で労働者の

学び、

大践に

動しみ

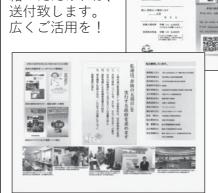
ŧ

会の多かった所為 を貫く」というみ教え です。先師から「信念 考え、報謝の念しきり 超えることができたと つの力とさせていただ なりに結び合わせ、 侶の方がたのお導きに 和の課題と向き合う機 を賜ったと思います。 い)か、安芸教区の僧 広島に住み、非核平 苛烈な闘いを乗り (せ

ります。

「非核の政府を求める大阪の会」紹介リーフレット

必要部数等、ご返絡いただければ、 送付致します。 ご連 広くご活用を!



お問い合わせ は、当会事務局まで、お願いし ます。

事核自治体艺 非核政府毛

から核兵器を全滅・廃の集会に加わり、一念の集会に加わり、一念 るものです。 棄させたいと願って 島へ赴き、多くの 毎年、8月6日には、

やくげおん) 喬 (釈雅 音

希求しております。

て掲げ、 ります。 自らの信仰の課 マ・ナガサキ てまた 、心を寄せてお信仰の課題とし \dot{O} Ľ 問題を 口 シ

き続きご縁により大阪に住んでいますが、引その後、転居し当地

宗教者平和協議会の活

世界の平和、人類の安 ご指導をいただいてお の結合、関連を学び、 はないかという考えか 寧なくしては、自分も 動に加えていただき、 「平安」ではないので やはり、究極的には、 非核平和の問題と ごします。 広 水野 今年もそのように過